

## 平成24年度第1回

### 未来の担い手「武蔵村山青年会議U40」会議次第

日 時：平成24年10月30日（火）

午後7時から

場 所：市役所 403集会室

時間配分	日 程	内 容
午後 7:00～7:10	委員の委嘱等	○ 委嘱書の交付 ○ 市長挨拶 ○ 委員の紹介 ○ 事務局職員の紹介
7:10～7:50	事務局からの説明	1 未来の担い手「武蔵村山青年会議U40」の所掌事項等について (1) 未来の担い手「武蔵村山青年会議U40」設置要綱について (2) 会議の開催予定について 2 市の概要について
7:50～8:25	自己紹介	○ 自己紹介
8:25～8:30	議 題 1	○ リーダー、サブリーダーの互選について リーダー、サブリーダー互選 リーダー、サブリーダー挨拶
8:30～8:35	議 題 2	○ 会議の公開に関する運営要領の制定について
8:35～8:40	議 題 3	○ 今後の会議の進め方について
8:40～8:50	そ の 他	1 次回以降の会議の開催日程 2 その他
	閉 会	



## ○未来の担い手「武蔵村山青年会議U40」委員名簿

(平成24年10月30日委嘱)

氏 名	区 分	備 考
石 井 一 弘	市民（在住）	
石 井 友里菜	市民（在住）	
今 北 洸 平	市民（在住）	
大 谷 亜由美	市民（在学）	
加 園 裕 一	市民（在住）	
向 後 俊 佑	市民（在学）	
田 太 涼 也	市民（在住）	
原 田 裕 一	市民（在住）	
八 代 理 沙	市民（在住）	

(五十音順：敬称略)

## 1 未来の担い手「武蔵村山青年会議U40」の所掌事項等について

### (1) 未来の担い手「武蔵村山青年会議U40」設置要綱について

#### ① 青年会議U40の設置目的（設置要綱第1条）

武蔵村山市（以下「市」という。）が活力にあふれた魅力あるまちであり続けるよう、将来を担う若い世代がまちづくりに対するアイデアを出し合い、もって市政への積極的な参加を推進するため、未来の担い手「武蔵村山青年会議U40」（以下「青年会議U40」という。）を置く。

#### ② 青年会議U40の所掌事務（設置要綱第2条）

青年会議U40は、創意工夫に満ち、かつ、柔軟性に富んだ市民の視点で、市の魅力を引き出したまちづくりについて協議し、市長が別に定める期日までに、その結果を市長に報告する。

※ 青年会議U40では、創意工夫に満ち、かつ、柔軟性に富んだ若い世代の視点で、市の魅力を引き出し、住みたい・住んでいたい・行ってみたいとなるような「人と緑が織りなす 夢ひろがる やさしいまち むさしむらやま」（第四次長期総合計画 将来都市像）を目指したまちづくりについて話し合い、その結果を市長に報告する。

#### ③ 青年会議U40の班及び班の会議（設置要綱第6条及び第7条）

第2条の規定による報告に関する事項を調査研究するため、青年会議U40に二の班を置き、リーダー及びサブリーダーを班長に充てる。

2 各班は、班長を含め5人の委員で組織する。

各班の会議は、それぞれの班長が招集する。

2 各班の会議は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 各班の会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、班長の決するところによる。

※ 青年会議U40は、二つの班を置き、市長への報告に関する事項のテーマの決定から調査、研究を班単位で行う。また、その報告事項は実現可能なもののほうが望ましいと考えている。各班の班長は、本会議のリーダー及びサブリーダーを充てる。

#### ④ 任期（設置要綱第8条）

委員の任期は、委嘱の日からその日の属する年度の翌年度の末日までとする。

※ 委員の任期は、本日平成24年10月30日から平成26年3月31日までとする。

(2) 会議の開催予定について

青年会議U40については、平成24年度中（平成25年3月まで）に本日を含めて計6回開催する予定である。また、平成25年度も6回の開催を予定している。

平成24年度		平成25年度	
区分	期日	区分	期日
第1回	平成24年10月30日	第1回	平成25年5月中旬
第2回	11月中旬	第2回	6月中旬
第3回	12月中旬	第3回	7月中旬
第4回	平成25年1月中旬	第4回	9月中旬
第5回	2月中旬	第5回	10月中旬
第6回	3月中旬	第6回	平成26年3月中旬

## ○未来の担い手「武蔵村山青年会議U40」設置要綱

〔平成24年7月13日  
訓令（乙）第130号〕

## （設置）

第1条 武蔵村山市（以下「市」という。）が活力にあふれた魅力あるまちであり続けるよう、将来を担う若い世代がまちづくりに対するアイデアを出し合い、もって市政への積極的な参加を推進するため、未来の担い手「武蔵村山青年会議U40」（以下「青年会議U40」という。）を置く。

## （所掌事務）

第2条 青年会議U40は、創意工夫に満ち、かつ、柔軟性に富んだ市民の視点で、市の魅力を引き出したまちづくりについて協議し、市長が別に定める期日までに、その結果を市長に報告する。

## （組織）

第3条 青年会議U40は、公募により市長が委嘱する委員10人をもって組織する。

2 前項の委員に応募することができる者は、次に掲げる要件を備えている者とする。

（1）応募の日において20歳以上であり、かつ、40歳以下である者。

（2）市内に住所を有し、又は市内に通勤し、若しくは通学する者。

## （リーダー及びサブリーダー）

第4条 青年会議U40にリーダー及びサブリーダーを置き、委員の互選により選任する。

2 リーダーは、青年会議U40を代表し、所掌事務を掌理する。

3 サブリーダーは、リーダーを補佐し、リーダーに事故があるとき、又はリーダーが欠けたときは、その職務を代理する。

## （会議）

第5条 青年会議U40の会議は、リーダーが招集する。

2 青年会議U40は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 青年会議U40の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、リーダーの決するところによる。

## （班）

第6条 第2条の規定による報告に関する事項を調査研究するため、青年会議U40に二の班を置き、リーダー及びサブリーダーを班長に充てる。

2 各班は、班長を含め5人の委員で組織する。

## （班の会議）

第7条 各班の会議は、それぞれの班長が招集する。

2 各班の会議は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 各班の会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、班長の決するところによる。

(任期)

第8条 委員の任期は、委嘱の日からその日の属する年度の翌年度の末日までとする。

(庶務)

第9条 青年会議U40の庶務は、企画財務部秘書広報課において処理する。

(委任)

第10条 この要綱に定めるもののほか青年会議U40の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成24年7月13日から施行する。

## 2 市の概要について

### (1) 「ふんごまっしええ 武蔵村山へ」

武蔵村山市を映像で紹介し、改めて市について知っていただくとともに、最近の市の取り組み等をお知らせし、今後の会議の参考にしてもらう。

- ・市の概要
- ・市政
- ・歴史
- ・名所案内 等

## 自己紹介

---

「私が思う魅力あるまちとは！」等を盛り込んで自己紹介をする。  
お互いを知りあいましょう。

## 議題1 リーダー、サブリーダーの互選について

---

このことについて、未来の担い手「武蔵村山青年会議U40」要綱（平成24年武蔵村山市訓令（乙）第130号）第4条の規定により、リーダー、サブリーダーの互選により選任する。

リーダー

---

サブリーダー

---

（参考）

○未来の担い手「武蔵村山青年会議U40」設置要綱 - 抄 -

（リーダー及びサブリーダー）

- 第4条 青年会議U40にリーダー及びサブリーダーを置き、委員の互選により選任する。
- 2 リーダーは、青年会議U40を代表し、所掌事務を掌理する。
  - 3 サブリーダーは、リーダーを補佐し、リーダーに事故があるとき、又はリーダーが欠けたときは、その職務を代理する。

## 議題2 会議の公開に関する運営要領の制定について

このことについて、武蔵村山市附属機関等の会議及び会議録の公開に関する指針（平成19年6月11日市長決裁）第8条の規定に基づき、未来の担い手「武蔵村山青年会議U40」の会議の公開に関する運営要領を定める。

### ○未来の担い手「武蔵村山青年会議U40」の会議の公開に関する運営要領（案）

（趣旨）

第1条 この要領は、武蔵村山市附属機関等の会議及び会議録の公開に関する指針（平成19年6月11日市長決裁。以下「会議公開指針」という。）第8条第2項の規定に基づき、未来の担い手「武蔵村山青年会議U40」の会議の公開に関し、必要な事項を定めるものとする。

（会議の公開）

第2条 会議は、非公開情報に係る審議を除き、公開する。

（非公開情報の承認）

第3条 リーダーは、会議公開指針第4条第3項の規定により非公開情報として取り扱うことと決定したものがあるときは、会議の開会前に、庶務担当課長にその理由を説明させ、委員の承認を受けるものとする。

2 前項の承認は、出席委員の合議により行うものとし、合議が整わないときは、出席委員の過半数で決するものとする。

（会議の一部公開）

第4条 会議の一部を公開するときは、まず非公開情報以外の情報に係る審議を行い、当該審議の終了後、傍聴者を退席させた上で非公開情報に係る審議を行うものとする。

（傍聴の許可）

第5条 リーダーは、会議の開会前に、会議公開指針第5条第2項の規定による許可を行うものとする。

2 リーダーが前項の許可をしたときは、庶務担当課長は、会議においてその旨を報告するものとする。

（委任）

第6条 この要領に定めるもののほか必要な事項は、リーダーが会議に諮って定める。

### （参考）会議録等の公表

未来の担い手「武蔵村山青年会議U40」の会議録（要旨）及び会議資料については、武蔵村山市附属機関等の会議及び会議録の公開に関する指針第12条第1項の規定に基づき、市ホームページ及び市政情報コーナーにおいて公表する。

## ○武蔵村山市附属機関等の会議及び会議録の公開に関する指針

(平成19年6月11日市長決裁)

(趣旨)

第1条 この指針は、武蔵村山市附属機関等の設置及び運営に関する指針（平成18年10月11日市長決裁。以下「設置運営指針」という。）第11条第2項及び第13条第2項の規定に基づき、武蔵村山市における附属機関等の会議（以下「会議」という。）及び会議録の公開に関し、必要な事項を定めるものとする。

(用語)

第2条 この指針において使用する用語は、設置運営指針において使用する用語の例による。

(会議の公開の可否)

第3条 会議の公開の可否は、附属機関等の長（以下「議長」という。）が会議に諮って決定する。

(会議の非公開)

第4条 前条の規定により会議を公開することと決定した場合であっても、非公開情報（設置運営指針第11条第1項ただし書に規定する場合に該当する情報をいう。以下同じ。）を審議する会議は、公開しない。

2 一の会議で、非公開情報と非公開情報以外の情報を審議するときは、非公開情報以外の情報の審議に限り公開するものとする。

3 前2項の場合において、一の情報を非公開情報として取り扱うことの可否は、議長があらかじめ会議の庶務を処理する課又はこれに相当する組織の長（以下「庶務担当課長」という。）と協議して決定するものとする。

4 議長は、前項の規定により一の情報を非公開情報として取り扱うことと決定したときは、当該決定に係る非公開情報を審議する会議において、庶務担当課長をして当該情報を非公開情報として取り扱う理由を説明させ、当該決定について当該附属機関等の委員の承認を受けるものとする。

(会議の公開の方法)

第5条 会議の公開は、これを傍聴させることにより行う。

2 会議を傍聴しようとする者は、会議の開始時間の10分前までに、附属機関等の会議の傍聴申込書（第1号様式）により議長の許可を受けなければならない。

3 議長は、会議を傍聴しようとする者が武蔵村山市議会傍聴規則（昭和55年武蔵村山市議会規則第2号。以下「市議会傍聴規則」という。）第6条各号のいずれかに該当するときを除き、前項の許可をしなければならない。

4 前項の規定にかかわらず、議長は、会議を開催する場所の収容能力を超える傍聴の申込みがあったときは、当該収容能力を超える申込みについて、同項の許可をしないことができる。

5 前項の場合における第2項の許可は、原則として申込みの順序によるものとする。

(会議次第の配布等)

第6条 議長は、会議の傍聴の許可を受けた者（以下「傍聴者」という。）に会議の議題を記載した会議次第を配布する。

2 傍聴席は、原則として椅子のみとする。

(傍聴者の遵守事項等)

第7条 傍聴者は、市議会傍聴規則第7条に掲げる事項を遵守しなければならない。

2 傍聴者は、議長が会議に諮って許可した場合を除き、写真、映像等を撮影し、又は録音してはならない。

3 議長及び庶務担当課長は、前2項の規定に違反する傍聴者があるときは、必要な指示をするものとする。

4 議長は、前項の指示に従わない傍聴者があるときは、これを退席させることができる。

(会議公開運営要領の制定)

第8条 議長は、第3条の規定により会議を公開することと決定したときは、会議に諮って会議の公開に関する運営要領を定めるものとする。

2 前項の運営要領は、第2号様式に準じて定めるものとする。

(会議開催情報の公表の方法)

第9条 設置運営指針第12条の規定により会議の開催日時、開催場所、議題等を公表するときは、庶務担当課長は、会議の開催情報（第3号様式）を市政情報コーナーに備えるとともに、その概要を市ホームページに掲載するものとする。

2 前項の規定による会議の開催情報の公表は、会議の開催日の1週間前までに行わなければならない。ただし、緊急に会議を開催するときは、この限りでない。

3 第4条第1項又は第2項の規定により、会議を非公開とし、又は会議の一部を公開するときは、庶務担当課長は、第1項の規定による公表に際し、その旨及びその理由を示すものとする。

(会議録の作成)

第10条 会議録の作成は、次に掲げるところによる。

(1) 第4号様式に準ずること。

(2) 審議経過がわかるように、主な意見等を簡潔に記載すること。

(3) 発言者の氏名（職名その他発言者を識別できる情報を含む。以下同じ。）は、記載しないこと。ただし、発言者の氏名を公にしても、率直な意見の交換及び意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがないと認める場合であって、かつ、会議において承認を受けたときは、この限りでない。

(会議録の承認)

第11条 会議録は、当該会議録に係る会議の開催日以後1か月以内に、会議において承認を受けて確定するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、同項に規定する期間内に会議を開催する予定がないときその他同項の規定により難しいときは、当該会議録に係る会議に出席した附属機関等の委員全員の承認を受けることにより、同項の承認に代えることができる。

(会議録等の公表)

第12条 会議を公開により開催したときは、当該会議の会議録の全文又は概要及び会議資料を市ホームページに掲載し、及び市政情報コーナーに備えるものとする。ただし、次に掲げる会議資料は、市ホームページに掲載しないことができる。

(1) 電磁的方式（電子的方式、磁気的方式その他の人の知覚によっては認識することができない方式をいう。）で作成していないものその他市の使用に係る電子計算機に記録されていないもの

(2) 前号に掲げるもののほか、市ホームページに掲載しないことに合理的な理由があるもの

2 非公開により開催された会議の会議録の公開の手續は、武蔵村山市情報公開条例（平成18年武蔵村山市条例第20号）第2章第1節に定めるところによる。

附 則

(施行期日)

1 この指針は、平成19年7月1日から施行する。

(審議会等の会議の公開に関する基本方針等の廃止)

2 次に掲げる規程は、廃止する。

(1) 審議会等の会議の公開に関する基本方針（平成10年10月6日市長決裁）

(2) 審議会等の会議の公開に関する実施指針（平成11年1月12日市長決裁）

(3) 審議会等の会議の公開に関する実施指針の運用方針（平成11年1月12日市長決裁）

(経過措置)

3 この指針の施行の際、現にこの指針による廃止前の審議会等の会議の公開に関する実施指針の運用方針第4項の規定に基づいて制定された審議会等の会議の公開に関する運営要領は、第8条第1項の規定に基づいて制定されたものとみなす。

附 則（平成20年4月9日市長決裁）

第1条の規定による改正後の武蔵村山市附属機関等の設置及び運営に関する指針第13条の規定並びに第2条の規定による改正後の武蔵村山市附属機関等の会議及び会議録の公開に関する指針第12条第1項及び第2項の規定は、この指針の施行の日以後に作成する会議録から適用する。

様式 一略一

(参考 1)

○武蔵村山市附属機関等の設置及び運営に関する指針 - 抄 -

(会議の公開)

第 1 1 条 附属機関等の会議（以下「会議」という。）は、公開する。ただし、武蔵村山市情報公開条例（平成 1 8 年武蔵村山市条例第 2 0 号）第 8 条各号のいずれかに該当する情報を取り扱うとき、又は会議を公開することで公正かつ円滑な議事運営に著しい支障を及ぼすおそれがあるときは、会議を公開しないことができる。

2 会議の公開に関する手続は、市長が別に定める。

(会議開催情報の公表)

第 1 2 条 会議が開催されるときは、市長等は、あらかじめ、市政情報コーナー、市のホームページ等で会議の開催日時、開催場所、議題等を公表するものとする。

(会議録等の公表)

第 1 3 条 会議が公開により開催されたときは、市長等は、その会議録（以下「会議録」という。）の全文又は概要及び会議資料（審議に必要な資料として配付するものをいう。以下同じ。）を公表するものとする。

2 会議録の作成、公表等に関して必要な事項は、市長が別に定める。

(参考 2)

○武蔵村山市議会傍聴規則 - 抄 -

(傍聴できない者)

第 6 条 次の各号の一に該当する者は、傍聴することができない。

- (1) 銃器、棒その他人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれがある物を携帯している者
- (2) 張り紙、ビラ、掲示板、プラカード、旗、のぼり、垂れ幕の類を携帯している者
- (3) はち巻、腕章、たすき、リボン、ゼッケン、ヘルメットの類を着用し、又は携帯している者
- (4) ラジオ、拡声器、無線、マイクの類を携帯している者
- (5) 笛、ラツパ、太鼓その他の楽器の類を携帯している者
- (6) 酒気を帯びていると認められる者
- (7) 前各号に定めるもののほか議事を妨害し、又は人に迷惑を及ぼすおそれがあると認められる者

(傍聴人の遵守事項)

第 7 条 傍聴人は、傍聴席においては次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 会議中は、みだりに席を離れないこと。
- (2) 特別な場合を除くほか、帽子、えり巻などを着用しないこと。
- (3) 飲食や喫煙をしないこと。
- (4) 会議における討論などに対して、賛否を表明したり拍手をしないこと。
- (5) 私語、談笑などを慎むこと。
- (6) 決められた出入口以外からは、出入りしないこと。
- (7) 前各号に定めるもののほか、会議の議事進行を妨げ、又は品位を傷つける行為をしないこと。

### 議題3 今後の会議の進め方について

---

#### 1 会議の進行方法

会議は、ブレインストーミングとKJ法的手法を用いて、自由に発言し、その意見を整理し収束していく方法でテーマを絞ることから始め、約1年6か月かけて以下のステップで進行する予定である。

- ステップ1：現状の把握とあるべき姿の考察
- ステップ2：問題の発見・整理と取り組むテーマの抽出・設定
- ステップ3：プランの作成
- ステップ4：評価と選択
- ステップ5：報告書の作成

## その他

---

### 1 次回以降の会議の開催日程

第2回	平成24年	11月	日( )	時	分	～
第3回	平成24年	12月	日( )	時	分	～
第4回	平成25年	月	日( )	時	分	～
第5回	平成25年	月	日( )	時	分	～
第6回	平成25年	月	日( )	時	分	～

#### 平成24年11月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

#### 平成24年12月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

### 2 その他